

社会医療法人 愛仁会（高槻病院）



IP 電話システムと連携する ナースコール システムで業務改善



製品 & サービス

- ・ Cisco Unified Communications Manager (Unified CM)
- ・ Cisco Unified IP Phone 7925G
- ・ Cisco Unified IP Phone 7800 シリーズ
- ・ Cisco Aironet 2600 シリーズ 無線 LAN アクセス ポイント
- ・ Cisco 5500 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラ
- ・ ケアコム ナースコール システム (NICSS-R8)

課題

- ・ グループ全体の規模拡大に伴い、ネットワーク基盤の再整備が必要
- ・ 各施設における PBX の設置、更改にかかるコストの削減
- ・ 電話システムとナースコール システムの連携

ソリューション

- ・ Cisco Unified Communications Manager を本部に設置し、拠点の PBX レス化を推進
- ・ ナースコール システムとの連携によって現場の業務効率を改善

結果～今後

- ・ 電話システムの IP 化によりコスト削減とシステム基盤の強化を両立
- ・ 施設内の ICT 環境の充実、改善を促進

社会医療法人愛仁会（以下、愛仁会）は、大阪に本部を置き、千船病院、高槻病院、愛仁会リハビリテーション病院、愛仁会総合健康センターをはじめ、多数の医療、保健、介護、福祉系施設を運営しています。そして、人の一生のすべてのステージでトータルなヘルスケア サービスを実現するための取り組みを続けています。

シスコはネットワークの分野で、世界で一番信頼できます。そのソリューションとナースコール システムの連携によって、より良い医療サービスの提供を目指しています。

—— 社会医療法人 愛仁会本部 企画部 兼 医療情報部 課長 井内 伸一 氏

愛仁会は、広く社会のためにより良い医療サービスを提供し、健康で豊かな生活の増進に貢献することを理念として活動しています。大阪府内（主に大阪市、高槻市）の医療機関を中心にグループを形成しており、相互のシームレスな連携によってトータルヘルスケアを実現するための取り組みを積極的に行っています。現在グループには 27 の医療/介護施設があります。

課題

愛仁会では、グループとしての規模が拡大し、各施設間でやり取りされる情報の多様化とトラフィックの増加に対応すべく、ネットワーク基盤の整備を進めてきました。2011 年には医療情報部を設立し、ICT に関する取り組みをいっそう強化しています。海外の医療機関など先進的な取り組みを参考に、より良いインフラ整備を目指しています。

企画部 兼 医療情報部 課長の井内 伸一氏は、次のように話します。

「以前のネットワークは、事業規模の急速な拡大による職員数の急増に伴い、つながらないなどのトラブルもよく起こっていました。今はグループ全体の規模が大きくなり、利用者は当初の 10 倍以上になっています。やり取りされるファイルの数も大幅に増加し、今後医療系のデータも増えていくことはわかっているので、ネットワークを増強する必要があると考えていました。」

グループ全体でネットワーク基盤を整えていく取り組みの一環で、各施設のネットワーク機器の更新を検討していたときに、電子カルテ システムの構築ベンダーから電話システムの IP 化と、連携するナースコール システムの提案を受けたと井内氏は話します。

「最初に提案を受けたのは 2011 年頃でしたが、当初はネットワークの品質向上が先で、電話の IP 化やナースコール システムの導入にはあまり意識が向いていませんでした。」



社会医療法人 愛仁会本部
企画部 兼 医療情報部
課長
井内 伸一 様



高槻病院
新館六階病棟看護科
科長
松木 裕子 様

ただ、提案を検討していく中で、1 施設だけでなく、グループ全体で施設をまたいだ利用を進めるならメリットがあることもわかってきました。

電話、ナースコールとも通信にトラブルがあってはいけない部分なので、障害が少ないことを第一に考えています。その当時、IP 電話システムと連携できるナースコール システムはケアコムのもので、シスコ ソリューションとの連携を薦められました。シスコはネットワークの分野で非常に実績があり、一番信頼できるベンダーだと思っていましたので、その基盤を活かしてナースコール システムも利用できるならと、導入を決断したのです。」

信頼できるシスコのネットワークで わかりやすいナースコール システムが 利用できることは大きなメリットです。

ソリューション

電話システムの IP 化で統合とコスト削減を実現

愛仁会では、本部に Cisco Unified Communications Manager を設置し、各施設に Cisco Unified IP Phone を配置しています。データ通信と音声通信を IP ネットワークに統合し、回線工事などの物理的な負担を削減しました。また、従来は施設ごとに導入、更改してきた PBX が不要となり、機器そのもののコストや保守費用の削減にもつながっています。施設間の通話は IP ネットワークを介して行われるため、通話コストの低減にも効果を発揮しています。

迅速かつ的確な患者対応を支援するナースコール システム

ケアコムのナースコール システムは、2014 年 10 月に高槻病院に導入されています。このシステムはナースコール機能と院内情報システムや各種センサー、ベッドサイドに設置されるモニターなど各機器を連携させることができます。各種の情報を一括管理し、ナースコール時には患者に関するより多くの情報を看護師へ伝えることが可能です。高槻病院では、現場の看護師がナースコール端末（兼内線電話）として Cisco Unified IP Phone 7925G を利用しています。また、医師や看護部の幹部はスマートフォン（Apple iPhone 5s + Cisco Jabber）を内線電話として利用しています。

高槻病院 看護科 科長の松木裕子氏は、次のように話します。

「以前のシステムでは PHS を利用していましたが、病室の番号がわかる程度で、誰がどのような要件で呼び出しているかは実際に病室に行ってから確認していました。新しいシステムでは端末に患者様の名前が表示されるので、担当の看護師は呼び出しの内容や緊急性を把握しやすくなっています。これが一番のメリットですね。

また、離床センサーを備えたベッドとも連携できるので、転倒や転落の防止にも役立っています。一人で立ち上がると危険な患者様がベッドから離れようとするアラームが鳴るので、急ぎ対応できるようになりました。」

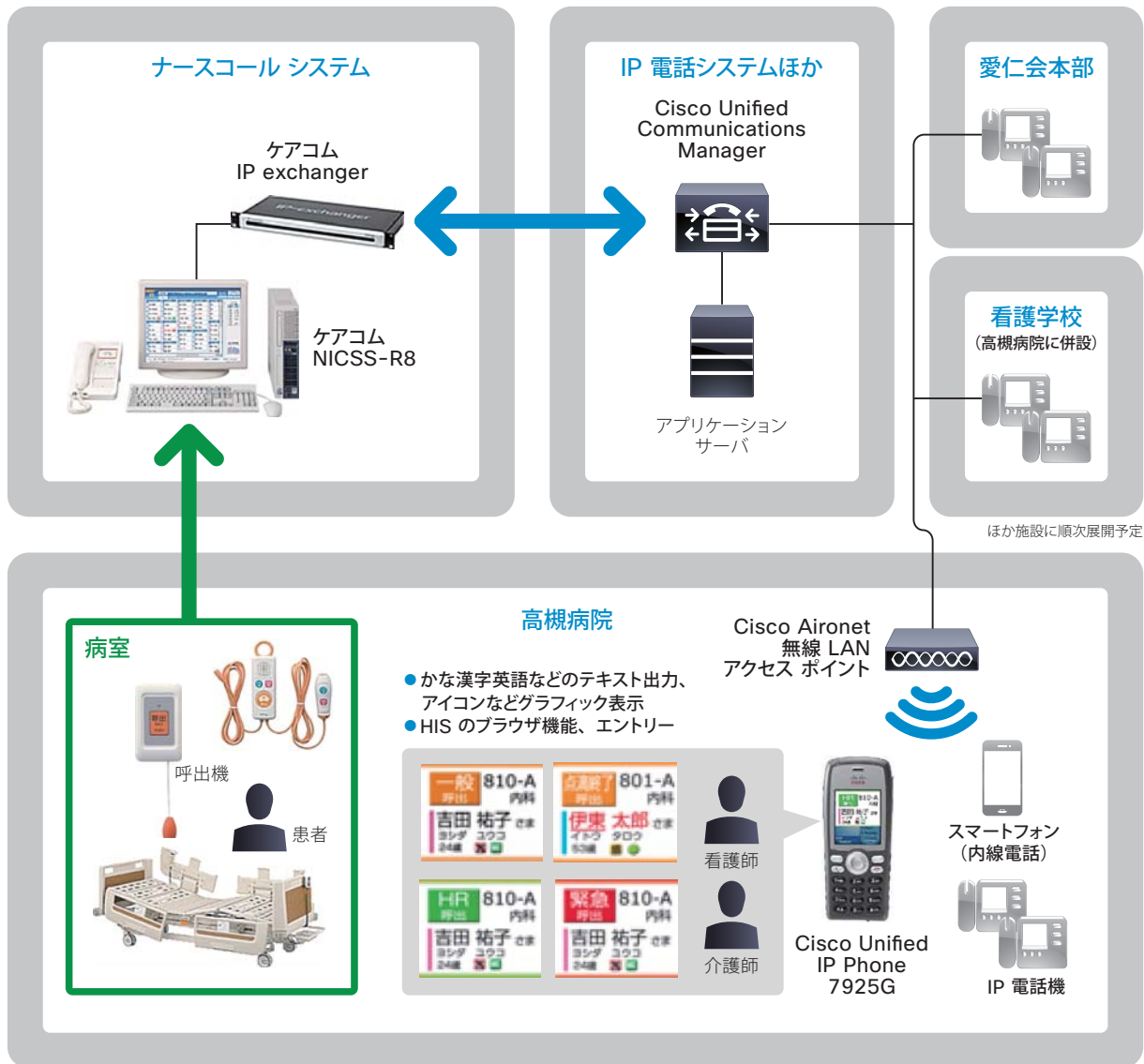
新しいナースコール システムではコールの履歴を確認できるので、頻度や時間帯などの傾向を把握することが容易になりました。高槻病院では、このデータを活用した業務改善にも取り組んでいると松木氏は話します。

「統計を見て、看護師のシフト交代で引継ぎを行っている時間帯にコールが多いことがわかりました。そこで、引継ぎの時間をできるだけ短くして、患者様のところへ早く行けるようにするという業務の改善にも役立っています。」

無線 LAN による院内ネットワークの充実

ナースコール システムと端末の連携を無線 LAN で行うため、高槻病院では院内の無線 LAN 環境も合わせて整備されました。これにより、院内のあらゆる場所で安定したネットワークが使えるようになり、スマートフォンを活用した内線通話で利便性を高めるなど、波及的な効果も得られています。

高槻病院の IP ナースコール システム



結果～今後

医療現場における ICT の活用をさらに進める

高槻病院では、ナースコールシステムの活用をさらに進めていきたいとしています。

愛仁会としても ICT を積極的に活用して、来院者や患者へより良い医療サービスを提供していくための基盤の確立を目指しています。一例として、医療系アプリケーションを稼働させているサーバの仮想化や、施設で利用する端末の仮想デスクトップ化など、物理的な機器の設置スペースや運用管理の効率化、管理の簡素化に取り組む予定です。

その他の詳細情報

Cisco Unified Communications Managerの詳細は、www.cisco.com/web/JP/go/uc を参照してください。

ケアコム ナースコール システムの詳細は、www.carecom.jp/product/medical.html を参照してください。

社会医療法人愛仁会 高槻病院



所在地	大阪府高槻市古曽部町 1-3-13
設立	1977 年 11 月
病床数	一般病床 477 床 (2015 年 10 月現在)
診療科目	29 科目
職員数	医師 178 人 看護師 531 人 医療技術職員 131 人 事務その他職員 166 人
URL	http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/index.html

市民病院の役割を担う総合病院であり、大阪で2番目に総合周産期母子医療センター（MFICU NICU）地域医療支援病院としての認可を受けている。同じ高槻市内にある愛仁会の各医療/介護施設と連携しながら、小児医療や周産期医療をはじめ、地域におけるトータルヘルスケア、高度な医療サービスを提供している。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2016 年 1 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ